

＜ルイ R ワイン試飲会 2015@東京 レポート＞

2015年6月23日、東京・目黒雅叙園 鷺の間にて、料飲店とメディア関係者様限定の「ルイ R ワイン試飲会 2015」を開催しました。当日は、日本初披露ワインを中心に、シャンパーニュ、ブルゴーニュ、ボルドーなどフランス 8 地方、合計 55 種類の銘柄をご用意。バリュウワインから、ブルゴーニュ・グランクリュ、生産本数 2,000 本程度の小さな家族経営のワイナリー、新進気鋭の造り手クロード・デュガはじめフランスを代表するメゾンの逸品など。他では手に入らない幅広いテイスト、ラインナップのワインを、総勢 300 名に及ぶご来場者が続々とテイスティング。その味わいを心ゆくまで堪能されました。



午前 11 時。123 畳の豪華絢爛な和室「鷺の間」では、紋付袴で和式に正装したルイ・ロブション社長がゲストをお迎えします。オープニングとともに次々と入場されたゲストには、左まわりで「シャンパーユ スパークリングワイン」、「白ワイン」、「ルイ R 社お勧めワイン」、「赤ワイン ブルゴーニュ、ロワール」、「赤ワイン ランドック、ボルドー、ローヌ ロゼワイン 貴腐ワイン」のコーナーを回っていただくように、ご案内します。



センターテーブルには、生ハムやチーズの他、「ズワイガニのプチシュー詰め」、「炙りウニと帆立土佐酢ジェルかけ」、「鮪山椒漬けアボカドソース」など、上質なワインとのマリアージュを意識した繊細で彩り豊かなアミューズをご用意。和洋折衷の美しい空間に華を添えていました。



まず賑わうのが、入口すぐのシャンパーニュ スパークリングワインコーナー。ここには日本初入荷のシャンパーニュを中心に、大人気のクレマン・ド・ロワールやガメイ 100%と大変珍しいロゼ・スパークリングなど 8 種類をセレクト。

早速、日本初であり赤丸急上昇中のシャンパーニュ・マトラン ブリュット・トラディション (No.1)、エクストラ・ブリュット (No.2) あたりにゲストの手が伸び、オープニング 1 時間ほどでボトルが空いていきます。再会を祝って乾杯するゲストの方もあり、和気藹々な雰囲気です。



次のコーナーは白ワインで、ロワール、ボルドー、ランドック、アルザス、ブルゴーニュから厳選した 16 種類をラインアップ。ルイ・ロブション社長が最初に訪問したワイナリーのロワールワインらしい美しさを感じさせるドメーヌ・フィジャ プィィ・フュメ・キュヴェ・プレスティージュ (No.10) には、「とても美味しい」、「エレガントで綺麗な香り」と人気を集めた。また、日本初上陸のドメーヌ・ベルテルモ ピュリニィ・モンラッシェ (No.21) や、特級コルトン・ブランという名をもつドメーヌ・コント・セナール コルトン・ブラン・グラン・クリュ (No.23) への注目度も高く、繊細でふくよかな味わいをゆっくりと舌で確認する姿が多く見られました。



ルイ R 社お勧めワインのテーブルには、今回ご披露の 55 種類から選び抜かれた 11 種類が個性を競うように並びます。

シャンパーニュ、白ワインは、シャンパーニュ・マトラン、ドメーヌ・デ・フォンテーヌ、ドメーヌ・フィジャ、シャトー・ラモット・デュ・バリー、ドメーヌ・ベルテルモから。赤ワインは、ドメーヌ・ジャン・ギトン、ドメーヌ・モン・リュイザン、シャトー・キャップ・ド・オ、ドメーヌ・ド・ロラージュ、シャトー・ルイから。

洗練を極めたお勧めワインの中でも、ドメーヌ・ド・ロラージュ ロラージュ (No. 48)、シャトー・ルイ (No. 49) に「美味しい」「素晴らしい」と絶賛の声が聞こえてきました。さらには、「全体的にレベルが高くて感心した」との激賞も。

赤ワイン ブルゴーニュ、ロワールのコーナーに並んだ 15 種類の中では、日本初上陸、9 年熟成を経た 1 級モレ・サンドニ (No. 34) に注目が集まり、高く評価されていました。

そして最後のテーブルでは、ロゼや貴腐ワインに多くの女性ゲストの笑顔がほころび、談笑したり、名刺交換をしたり……。テイastingだけでなくゲスト同士の交流も楽しまれていたようです。



舞台上に設置された大型スクリーンには、ルイ・ロブション社長が訪れた生産者のぶどう畑やカーヴの様子、生産者と笑顔で語り合うルイ・ロブション社長の姿などが映し出されて、臨場感が高まります。

訪れた総勢 300 名に及ぶゲストの中には、名立たるソムリエの方、星付きレストランのシェフの方、フリーアナウンサー宮川俊二さん、シンガーソングライター嘉門達夫さん、そして瀬祭でおなじみの旭酒造の桜井博志社長の姿もありました。

バロック音楽の流れるデコラティブな和の空間。極上のワインと和の食材を駆使したアミューズ。未知のテイストに出会ったゲストの皆さま……。まさにフランスと日本とのマリアージュを体現したような試飲会は、大盛況のうちにお開きとなりました。

